



中央消防署 火災予防通信

～H29年の火災件数、原因など～

みなさんこんにちは！

今月は昨年の中央区の火災の概要をお知らせします。

みなさんのおかげでH29年はH28年と比較すると火災が減少しました！火災全体の件数も減少し、一番減って欲しい住宅火災も減少しました！みなさんの日頃の心がけのおかげです。ありがとうございました！そしてなにより、火災でお亡くなりになる方がいませんでした。

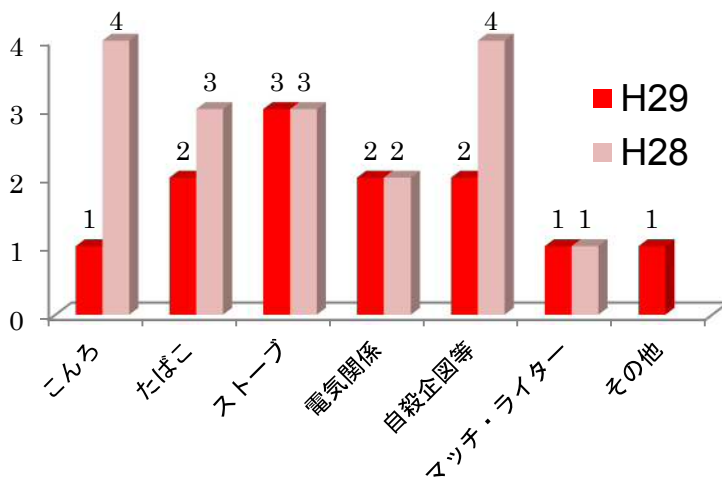
○件数の比較

	H28	H29
全件数	30	18
住宅	17	12
住宅以外の建物	7	6
車両	3	0
その他	3	0
死者（自殺企図除く）	1	0

※住宅：専用住宅、共同住宅、併用住宅

住宅火災が5件減少しました。素晴らしい～！（声を大にして）みなさんの防火意識が一段高まった表れです。消防としてはこの上ない喜びです。ありがとうございました。また、火災でお亡くなりになった方はいませんでした。火災で大切な命を落としてはなりません！

○住宅火災原因の比較



※自殺企図等：自殺目的で火をつけた又は自宅に火をつけた

中央区の住宅火災の原因は、累計でこんろ、たばこ、ストーブの順で多く、例年こんろが一番多いのですが、去年はこんろによる火災が1件のみでした。これは、みなさんの高い防火意識と、住警器（住宅用火災警報器）の普及が進んだおかげだと思っています。

こんろにかけた鍋の空焚きで出動することはよくありますが、住警器が煙を感知して、早期にベルを鳴らし知らせてくれるので、火災になる前に対応できた例が相当数あります。住警器は危険の早期認知にとっても有効です。

付いていますか！？住警器！

《消防自動車の鐘の音「カンカン・カンカン」は火の用心のお願いです！》

～まだまだ寒い、ストーブに注意！～

3月は寒さが緩み気温が上昇する季節ですが、まだまだストーブを手放せません。中央区のストーブ火災は3月まで多く発生しています。今しばらく、ご注意ください。

●使用時に注意すること

- 洗濯物はストーブの上に干さない
- 火がついたまま給油しない
- キャップはしっかり締める

この3つを必ず守りましょう。

この他には、布団などがストーブに接触して出火したもの、ストーブの前にスプレー缶を置き、爆発した例などがあります。近くに燃えやすいものは置かないことを徹底しましょう。

当然！お出かけの際には、必ず火を消してからお出かけください！お願いします。



《消防自動車の鐘の音「カンカン・カンカン」は火の用心のお願いです！》

中央消防署 災害情報(平成30年2月28日現在)

火災 7件(前年比 +3件)
救急 1,446件(前年比 +28件)
救助 4件(前年比 -2件)

中央消防署

TEL 025-288-3119

FAX 025-288-3315

住所 新潟市中央区鐘木257番地1